

歯周病の治療

あなたはどの歯茎でいたいですか？



歯周病って

歯茎が赤くなったり、
少し出血するだけで、
しばらく歯磨き頑張れば治るものでしょ？

と思っていませんか？

**歯周病は、
一度生じるとなかなか
改善しない病気です。**

それはなぜか？

- ① 歯周病についての正しい認識不足
- ② 症状が分かりにくいので、必要性を感じづらい
- ③ 深い位置にある原因を根本的に除去しきれていない
- ④ 患者さんが治療の主体であり、
仕事などで忙しいとなかなか時間を作れない

① 歯周病についての正しい認識不足

多くの歯科医院では、
短時間で治療を行っているため、
歯周病についての正しい情報を伝えられていません

正しく知っていただくことによって、
治療の必要性や取り組み方、
効果的な清掃方法を身につけることができ、
ご自身の歯を守ることができます

② 症状が分かりにくいので、必要性を感じづらい

歯周病は

高血圧症のように自覚的な症状が出にくい病気です。

そのため、客観的な検査による評価が必要です。

決して何も感じないから大丈夫と思わず、
何物にも代えられないご自身の歯を守っていきましょう！

③ 深い位置にある原因を根本的に除去できていない

プラークや歯石は見えているものがすべてではありません。

歯周ポケットの内部や親知らずの周囲にも隠れています。

**見えない部分の汚れは歯ブラシでは取れにくく、
炎症が残り、歯周病は進行し続けます。**

**歯科医師や歯科衛生士が専用の器具を使用し、
除去する必要があります。**

**④ 患者さんが治療の主体であり、
仕事などで忙しいとなかなか時間を作れない**

**私たちは、3～4カ月に一度
プロフェッショナルケアを行います、
年に3回か4回しか関わられません。**

**365日のうち、360日以上は
ご自身で管理していただくことが必要な治療です。**

歯周病の原因

原因である歯周病菌は...

「磨き残し」や「代謝により剥がれた粘膜」などの
タンパク質を材料にして、

歯茎が腫れたり、歯を支える顎の骨を溶かす
毒素を産生します。

細菌は、
歯の表面に強い力でくっつき、
プラーク（バイオフィルム）を作り、
薬や消毒に抵抗します。

プラーク（細菌の塊）が、
唾液中のカルシウムで石灰化すると
歯石に変化します。

歯石は、
軽石のように表面にボコボコ穴が空いていたり、
ザラザラするので、
細菌が住処にし、増殖し続けます。



毒素を出す直接的な原因 → プラーク（細菌の塊）

菌の増殖する温床となる間接的な原因 → 歯石

そのため、実際に治療で除去しているのは、
「**プラーク**（細菌の塊）」と「**歯石**」です。

症状進行の要因は...

01

免疫力の
低下



疲れ
他の感染症
全身疾患

02

口腔内環境
の不良



磨き残し
歯並び
親知らず

03

妊娠



ホルモンバランスの崩壊
清掃困難（つわりetc）

04

喫煙
薬の服用



免疫抑制剤
降圧剤（血流低下）
喫煙（血流低下）

要因に対する対策

01

免疫力の低下



バランスのいい食事
適度な運動
規則性のある生活

02

口腔内環境
の不良



適切な
清掃方法・器具
定期検診による
客観的評価

03

妊娠



適切な
清掃方法・器具
安定期の検診

04

喫煙
薬の服用



口腔内清掃の徹底
生活スタイルの改善
禁煙

歯科医院を 受診することで

1

個人にあった
適切な清掃方法と
器具の選択

2

客観的な
口腔内の評価

3

プロによる
原因除去

が行えます。

これらのことを
継続的にを行い、
歯周病が進行しない
環境づくりを行います。

歯周病が進行すると・・・

本来のきれいな状態に戻せます

歯茎はだいぶ下がり

自然に抜けることが

しみたり、虫歯になりやすくなって、

あります

歯も揺れ始めます



少し歯茎は下がりますが、
まだしみたり、虫歯にはなりにくいです

歯が揺れ、噛みにくくなり、
歯並びも悪くなります

歯周病は

**ご自身次第で、予防することができたり、
反対に進行してしまうこともあります。**

**生涯自分の歯で生活するために、
健康的に噛める環境を守っていきましょう！**

**実際の治療について
見てみましょう！**

初回

- レントゲン写真
- 口腔内写真撮影
- 歯周組織検査
- 噛み合わせの検査
- 不適合な修復物の確認
- 歯周病についての説明
- 患者さんの現状の説明
- TBI（清掃方法や器具の説明）
- スケーリング・歯面清掃

レントゲン写真

- 歯周病による顎の骨の吸収状況を判定
- 虫歯や根尖病変
- 顎関節の状態
- 親知らずなどの埋まっている歯
- 噛み合わせの平面

の確認

口腔内写真撮影

- 歯肉の炎症状況
- 虫歯の有無
- 歯並び
- 粘膜の異常
- 根尖病変の有無

の確認

歯周組織検査

- プラークや歯石の付着部位
- 歯肉の状態
- 進行性の炎症の有無を判定
- 歯の動揺

を数値で客観的に評価

噛み合わせの検査

カチカチ噛んだ時、ギリギリ歯ぎしりをした時に
強く干渉している歯は、歯周病が急激に進行しやすくなります。

また、歯周病が進行したことによって、歯が動きかみ合わせが変わって、
強く干渉しだすこともあります。

どちらもその後さらに進行しないように調整をする必要があります。

不適合な修復物の確認

歯周病はプラークが残りやすい状況であればあるほど進行します。

ぴったり合っていない、またはしっかりくっついていない修復物は
汚れの温床になり、虫歯や歯周病が進行してしまいます。

必要に応じて、歯周病治療の前に除去・再修復を行います。

歯周病についての説明

そもそも歯周病とは

何が原因で、どういうことが起こるのか、その結果どうなってしまうのか

向き合う相手を理解し、

そうならないように、または改善するには何が必要なのか

を知っていただく必要があります。

患者さんの現状の説明

・ TBI（清掃方法や器具の説明）

検査結果をもとに、患者様の現状を説明します。

ご自身が今どの段階で、

どういう治療が必要なのか、

ホームケアとして何を使用し、どう使用すればいいのかをお伝えします。

スケーリング・歯面清掃

予約時間によりますが、

基本的に一気に歯茎より上に見えている汚れを除去・研磨します。

茶渋やたばこのヤニなどの

着色汚れが効果的に除去できる

パウダークリーニングをご希望の際は別途お申し出ください。

2回目

- 歯周組織検査
- 口腔内写真撮影

による再評価

ここで、十分な改善が見られた場合は、
その後はメンテナンスに移行します。

十分な改善が見られない場合、
SRPや歯周外科、再生療法、歯周内科療法
という治療が
必要になることがあります。

SRP

(歯周ポケット内部のプラークや歯石の除去)

進行した歯周病の方の歯周ポケットの内部には、
血液成分を含む黒く硬い歯石（縁下歯石）がついています。

改善させるには**除去が必須**です。

治療方法

内部を触っても痛くないように麻酔を行い、

専用の器具で可能な限り除去します。

その後、改善しているか再評価の歯周組織検査を行います。

歯周外科、再生療法

SRPを行っても十分な改善が得られなかった場合、

外科的なアプローチによって完全除去を目指します。

再生療法も併用し、失われた骨の回復を期待することもあります。

治療方法

麻酔を行い、治療部位の周囲の歯肉を開き、

残っている縁下歯石を直接確認しながら除去する。

再生させる場合は、再生薬剤を塗布し、閉創する。

歯周内科療法

急性症状が広範囲に生じてしまっている方や、
全体的な早急の改善を図る場合は、
歯茎まで覆うマウスピースを作製し、
内面に薬剤を塗布し装着する方法を実施します。

必要に応じて、原因菌を特定する検査を行います。

皆さんへのメッセージ

- ・ 自分で100%綺麗にできる方はほぼいません
- ・ 歯周病は、痛みが出ない状態で進行します
- ・ 日本人が歯を失う原因の40%が歯周病です
 - ・ 自分では正しい評価はできない

ということを理解し、
体のメンテナンスとして、定期的に歯科医院を受診し、
自分の歯や骨、歯茎を守っていく必要があります。

より詳しい内容については、
歯科衛生士に
聞いてみてください！